

委員会の活動状況

福祉文教委員会

委員長 芦原美佳子

12月11日及び18日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、議案6件、陳情4件でした。

◇主な審査内容

◎第62号議案

旭小学校空調設備改修工事について、対象となる教室や増築工事との関連について質疑があり、「本工事は、来年度計画している旭小学校の増築工事に関連した工事となっている。増築部分には、特別教室を配置し、既設校舎では、特別教室を移転した後、普通教室に改修する。その際、普通教室に空調設備を設置する工事である」との答弁でした。

学校給食センター維持管理事業の給排気ダクト清掃委託料について、清掃の実施状況や計画に関する質疑があり、「現給食センターを開設してから10年たつが、これまでダクト清掃を実施したことはない。以前、虫の羽根などが調理室内に落下することがあり、給排気ダクト内部の調査を行ったところ、ほこりの蓄積や虫の死骸等が入り込んでいることが判明し、給気口に防虫網を設置した。令和3年度予算に計上を予定していた清掃委託を早期に行う必要があることから、春休み中に業務を行うため、補正予算を計上し繰越明許費とした。清掃の計画についてはないが、定期的な清掃の必要はあると考えており、点検業者からは、5年に1回程度は行うことが望ま

しいと報告を受けている」との答弁でした。

◎第79号議案

新型コロナウイルス対策事業の在宅療養者への生活支援について、雇患者情報の収集方法及び運用等の質疑があり、「保健所を通じて、本市の実施事業について、雇患者へ案内をしてもらう。支援担当職員が、雇患者の要望を聴き取った上で店舗に発注した品物を、雇患者の自宅玄関先へ届ける」との答弁でした。

◇審査結果

第62号、第63号、第64号、第65号、第73号、第79議案は全員賛成により可決しました。また、陳情第4号、第5号の2、第6号、第7号は賛成少数で不採択としました。

都市環境委員会

委員長 川村つよし

12月14日に開催しました都市環境委員会に付託された案件は、議案6件でした。

◇主な審査内容

◎第62号議案

一般会計補正予算では、資源ごみ等処理事業において、ごみ処理手数料が500万円増額されたことについて詳細を問う質疑がありました。「上半期で、プラスチック製容器包装の処理量が10%程度増加、ペットボトルも12%程度増加など、コロナ禍の影響で、いわゆる巣ごもり生活となったことを背景に、家庭ごみが増加したのではないかと考えている」との答弁でした。

新型コロナウイルス感染症対策協力金事業費について、2つの協力金の不用額が大きいため、その結果をどのように分析されているか質疑がありました。予算執行率は、愛知県・尾張旭市新型コロナウイルス感染症対策協力金が70%程度、尾張旭市新型コロナウイルス感染症対策協力金が43%程度となっていますが、「予算規模としては、休業に対する協力金という、その性質から、不足することがないように見込んだ結果であること。協力金の対象の事業者には、しっかり交付できたと考えている」との答弁でした。

◇審査結果

付託された第62号、第66号、第67号、第71号、第72号、第77号議案全て、全員賛成により可決しました。

総務委員会

委員長 片渕卓三

12月15日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、議案5件、陳情1件でした。

◇主な審査内容

◎第62号議案

災害対策室の南海トラフ巨大地震等対策事業費補助金について、防災倉庫を全小中学校に設置することであるが、今年度はどこの学校に設置するのか、どうやって決まったのか質疑がありました。「今年度に設置する本地原小学校、白鳳小学校、瑞鳳小学校の設置に充当する。3校の選定理由は、学校及び自主防災組織と設置場所等の調整が完了し、2月末ま

でに設置の見込みが立った学校とした」との答弁でした。

また、財政調整基金繰入金について、今年度どこまで戻せるかとの質疑がありました。「今年度初めの財政調整基金の残高は、18.6億円であったが、当面の新型コロナウイルス対策として一時的に12.5億円まで減少した。今年度新型コロナウイルス対策として、地方創生臨時交付金で手厚く措置をされたので、9月補正後では16.9億円、今回の補正では、17.5億円まで回復させることができている。来年度は、税収減少の影響を受けることは確実であり、最終的

にはどこまで戻せるかは、新型コロナウイルス第3波の対応や3月補正等に計上していくことによって変わってくると思われるが、目標として、今年度初めのくらいの残高を確保できないかと思っている」との答弁でした。

◇審査結果

第62号、第74号、第75号、第76号、第78号議案は全員賛成で可決しました。

陳情第5号の1は賛成なしで不採択としました。

議会運営委員会

委員長 川村 つよし

12月17日の議会運営委員会に付託された案件は、請願1件でした。

◇主な審査内容

◎請願第1号

フロンティア旭の政務活動費不正問題における市長の発言について、その内容が請願で求める意見表明に当たるかどうか、十分かどうか論点となりましたが、不十分だとする意見は少数でした。

◇審査結果

請願第1号は、賛成少数により不採択としました。

委員会の行政調査報告

福祉文教委員会

委員長 芦原 美佳子

11月10日に尾張旭市役所にて、Zoomを利用し、瀬戸市の「スクールカウンセラー(以下SC)の活用について」オンライン行政調査を行いました。

瀬戸市では、県SC10名、市SC2名の体制で相談業務を行っています。現体制での児童生徒に対する成果として、保護者や教職員に話せないことも相談でき、心理の専門家が児童生徒に直接アドバイスができるとのことでした。課題として、来校日が限られており主に予約制で、即時対応が難しいことや、予約が埋まっており、次

の相談までの期間が空いてしまうこと等が挙げられていました。保護者に対しても同様の成果と課題があり、教師に対しては、心の専門家と連携することにより、支援を必要とする児童生徒の対応ができるが、やはり相談時間の確保が難しいとのことでした。

瀬戸市においても不登校児童生徒数、いじめの認知件数は、増加傾向にある中、心の専門家から適切な助言・援助がもらえることは、子どもたちだけでなく、保護者や教員に対してもメリットが大きいことが確認できました。

また、今後、市SCの増員予定はないが、全校から勤務日数・時間の増加を要望する声があり、現

場のニーズは高く、令和3年度からは、小中連携型配置を更に進めるとのことでした。

子どもたちが抱える諸問題が複雑化・多様化する中で、大きな支えとなっているSCの強化について、更に調査研究を深め、政策提言を行ってまいりたいと思います。



オンライン行政調査の様子

令和2年度の議会報告会は中止いたします

市政の諸課題に柔軟に対応するため、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換する議会報告会を毎年開催しているところですが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和2年度の開催は中止とさせていただきます。

なお、議会報告会は中止となりますが、市議会だよりや市議会ホームページにおきまして議会に関する情報の発信に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

尾張旭市議会議長 早川 八郎